



Success! Weekly Letter

カーブス HD、前期売上高 18.1%増、営業 41.7%増

■ 2024年8月期通期実績サマリー

売上高、営業利益、チェーン売上 過去最高

■ 売上高	354.6億円	(前年比 118.1%)
■ 営業利益	54.5億円	(前年比 141.7%)
■ チェーン売上	809.7億円	(前年比 113.4%)
▶ 会費入金売上	589.1億円	(前年比 109.1%)
▶ 会員向け物販売上	220.6億円	(前年比 126.8%)
<small>*チェーン売上：フランチャイズ店を含めた未帰属売上。全体の会費入金売上および会員向け物販売上の合計</small>		
□ 会員数	81.7万名	(前期末比 4.0万名純増)
□ 店舗数	1,978店舗	(前期末比 16店舗純増)

出典：株式会社カーブスホールディングス「2024年8月期決算補足説明資料」より

「女性だけの 30 分フィットネス カーブス」などを展開するカーブスホールディングス(HD)は、10月15日に2024年8月期の連結業績(2023年9月1日から2024年8月31日まで)を発表しました。

コロナ禍以降、フィットネス業界の既存大手各社の業績は未だ回復途上にある中、カーブス HD は早期に完全復活を果たし、過去最高売上・利益を達成しました。この差はどこにあるのでしょうか？

カーブス HD の売上高は前期比 18.1%増の 354.7 億円(チェーン全体では 13.4%増の 809.7 億円)に拡大し、25 年8月期も前期比 7.1%増の 380 億円の成長が見込まれています。また、営業利益は前期比 41.7%増の 54.5 億円に拡大し、25 年8月期も前期比 15.4%増の 63 億円が予測され、「2期連続で過去最高益を更新」する見通しです。

店舗数は前期比末 16 店舗純増の 1,978 店舗、会員数は前期比末 4.0 万名純増の 81.7 万名となり、1店舗当たり会員数はコロナ前の 19 年8月期と同水準の 413 名に回復しました。

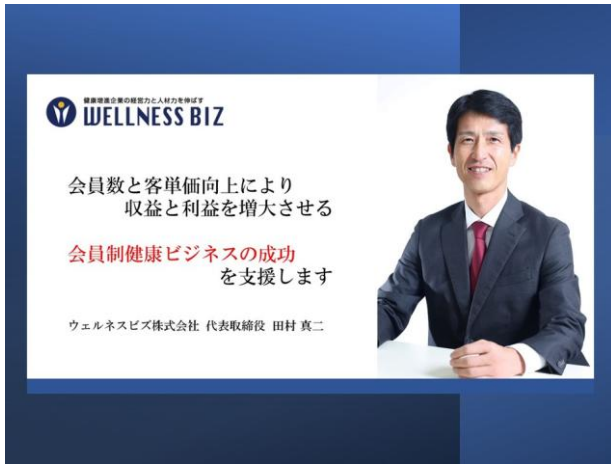
カーブス HD の 2024 年8月期の取り組みについて、同社決算補足説明資料より8つのトピックスをご紹介します。

●8つのトピックス

- 1. 顧客満足度の一層の向上**⇒2024 年度日本版顧客満足度指数(JCSI)調査で、フィットネスクラブ業種で初の 10 年連続第1位を獲得
- 2. マーケティングの強化**⇒年3回の入会キャンペーンを実施し、口コミ紹介、全国 TVCM、WEB 広告、地域販促等のマーケティングを展開
- 3. 食の相談・提案の強化**⇒新プロテイン販売開始、サブスク者数が過去最高を記録
- 4. 安全・安心 No.1 に向けた取り組み**⇒米国 GMP 認証取得工場で徹底した品質管理
- 5. オンラインサービス強化**⇒オンラインフィットネス利用者は 4.7 万名、カーブスアプリの利用者は 46 万名(1年で 23 万名増加)
- 6. 自治体・医療連携**⇒全国 30 以上の自治体および 25 のクリニックと連携
- 7. メンズ・カーブス**⇒19 店舗に拡大、2025 年8月期以降に出店加速
- 8. 海外事業**⇒欧州8カ国で 130 店舗展開、1クラブ当たり売上・会員数は過去最高を更新

これらの戦略的な取り組みを通じて、カーブスは業界内での確固たるリーダーシップをさらに強化しています。今後は次なるステージでの飛躍が期待され、業界内外に大きな影響を与える存在であり続けるでしょう。

本日も最後までお読み頂きありがとうございます。それでは次号をお楽しみに！



会員制健康ビジネスコンサルタント。ウェルネスビズ株式会社代表取締役。東京都出身。イオンで22年間、フィットネスと小売事業の現場および本社で様々な職種に従事した後、2007年に同社を退社。同年、会員制健康ビジネス領域で事業展開する中小・ベンチャー企業の経営不安を丸ごとサポートするコンサルティング会社を設立。会員数拡大、客単価向上、継続月数増を掛け合わせた「儲かる事業構築の仕組み」導入により、全国各地に高収益企業を多数生み出している。現在は、コンサルティング、講演、セミナー、執筆活動等を行っている。

お問い合わせ先

ウェルネスビズ株式会社

お問い合わせ先: <https://www.wellness-biz.jp/contact>

会社URL : <https://www.wellness-biz.jp>

TEL: 03-4530-6263

FAX: 03-3562-7822

〒104-0061

東京都中央区銀座1-3-3

G1ビル7階 1180号

免責事項

このニュースレターで提供された情報およびアドバイスによって起きた問題に関しては一切、当方やライターに責任や義務は発生しません。ここでの情報や助言を参考にした判断は、当然ですが、すべて読者の責任において行ってください。